

## 11～5歳の新型コロナワクチン接種医療機関に 支援のための協力金を支給

－接種1人につき1,100円を市内小児科医にお支払いします－

燕市では、3月8日から、市内小児科5医療機関で11～5歳の新型コロナワクチン接種を希望者に実施しています。3月21日現在で1,331人が予約済で、うち438人が1回目接種を終了しています。

小児接種は、安全に行うために介助が必要であり、本人や保護者への説明などにおいても医療機関への負担が大きいことから、接種小児科医からの意見や国の通知を踏まえ、個別接種を行う小児科医へ協力金を支払うこととします。

なお、協力金の単価については、県中央医療圏の3医師会長からの要望書を受け、県中央医療圏の3市において協議を行った結果、接種1人につき1,100円に統一し、円滑に小児接種を進めていくこととなりました。

### 【新型コロナワクチン接種協力金の支払いの概要】

1.目的：医療機関において、通常の診療に加え、小児接種の実施に係る負担を経費の面から少しでも支援することで、県中央医療圏全体で、希望者が円滑に接種できる体制整備を図る。

2.支払対象：11～5歳のコロナワクチン接種を実施している市内小児科5医院

地区	医療機関名（小児科名）
燕	こでらクリニック、水澤こどもクリニック
吉田	伊東こどもクリニック、たかだ小児科医院
分水	佐藤内科小児科医院

3.支払金額：接種1人につき、1,100円（税込み）

※令和3年度の小児向け予防接種の県統一単価3,126円と、新型コロナワクチン接種の国統一単価2,070円との差額をベースに他市の状況も考慮。

4.その他：協力金の財源については、国の「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業」に係る補助金を活用します。

本件についてのお問い合わせ先  
健康福祉部 健康づくり課：丸山  
電話：0256-77-8182（直通）